

あなたは
モネに包まれる。

モネ

連作の情景

CLAUDE MONET JOURNEY TO SERIES PAINTINGS

多彩なモチーフの連作を含む、約70点のすべてがクロード・モネ作品!

2024 2/10(土) ▶ 5/6(月・休)



大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

5階
展示室

【開場時間】10時-18時(入場は17時30分まで) 【休館日】月曜日(2/12、4/1、15、22、29、5/6は開館) ※会期中、一部展示替えがあります。

カンテレ開局65周年・産経新聞創刊90周年事業 主催:大阪中之島美術館/関西テレビ放送/産経新聞社

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ/大阪市教育委員会/堺市教育委員会/(公財)大阪観光局/山陰中央テレビジョン放送/岡山放送/テレビ新広島/テレビ愛媛/高知さんさんテレビ/テレビ西日本/ラジオ大阪/FM802/FM COCOLO

企画:ハタインターナショナル 特別協賛:にしたんクリニック 協賛:第一生命グループ/NISSHA 協力:KLMオランダ航空/日本航空/ルフトハンザ カーゴ AG/ルフトハンザ ドイツ航空/ヤマト運輸

監修:ベン・テンベル(デン・ハーグ美術館館長) 監修協力:マイケル・クラーク(前スコットランド・ナショナル・ギャラリー館長) 日本側監修:島田紀夫(実践女子大学名誉教授)

www.monet2023.jp

クロード・モネ 《ラ・マンヌボルト(エトルタ)》(部分) 1883年 メトロポリタン美術館 Image copyright © The Metropolitan Museum of Art. Image source: Art Resource, NY. Bequest of William Church Osborn, 1951 (51.30.5)



展覧会公式サイト

国内外40館以上のクロード・モネ作品を厳選 革新的表現「連作」を生み出した過程に迫る。

印象派を代表する画家のひとり、クロード・モネ(1840-1926)は、自然の光と色彩に対する並外れた感覚を持ち、柔らかい色使いとあたたかい光の表現を得意とし、自然の息遣いが感じられる作品を数多く残しました。同じ場所やテーマに注目し、異なる天候、異なる時間、異なる季節を通して一瞬の表情や風の動き、時の移り変わりをキャンバスに写し取った「連作」は、巨匠モネの画業から切り離して語ることはできません。本展では、「印象派以前」の作品も紹介しながら、モネの革新的な表現手法の一つである「連作」に至る過程を追います。壮大なモネ芸術の世界をご堪能ください。



Claude Monet クロード・モネ

PROFILE●1840年パリ生まれ。風景画家ブーダンの助言で戸外制作を始める。1865年サロン(官展)に初入選するがその後は落選が続き、1874年に「第1回印象派展」を仲間とともに開催。国内外を旅して各地で風景画を精力的に描く。1883年よりセーヌ川流域のジヴェルニーに定住。1880年代後半から「積みわら」を「連作」として描き始め、その後(ボブラ並木)〈ルーアン大聖堂〉〈セーヌ川の朝〉などに取り組んだ。晩年の制作は「睡蓮」が大半となり、眼を患いながら最晩年まで描き続けた。1926年、ジヴェルニーで86歳の生涯を閉じる。

SECTION 1 印象派以前のモネ



昼食 初来日
1868-69年 シュテッデル美術館
© Städel Museum, Frankfurt am Main

SECTION 2 印象派の画家、モネ



モネのアトリエ舟
1874年 クレラー・ミュラー美術館
© Collection Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands, photo by Rik Klein Gotink

SECTION 3 テーマへの集中



ヴェンティミリアの眺め
1884年 グラスゴー・ライフ・ミュージアム(グラスゴー市議会委託)
© CSG CIC Glasgow Museums Collection. Presented by the Trustees of the Hamilton Bequest, 1943

SECTION 4 連作の画家、モネ



ジヴェルニーの積みわら
1884年 ボーラ美術館

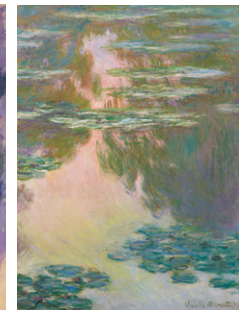
積みわら、雪の効果
1891年 スコットランド・ナショナル・ギャラリー
© National Galleries of Scotland.
Request of Sir Alexander Maitland 1965



SECTION 5 「睡蓮」とジヴェルニーの庭



藤の習作 大阪展限定
1919-20年 ドゥルー美術館歴史博物館
Musée d'art et d'histoire de Dreux, © F. Lauginie



睡蓮の池 大阪展限定
1907年 石橋財団アーティゾン美術館

音声ガイド

本展のナビゲーターを務める、俳優・芳根京子が展覧会の音声ガイドに初挑戦。

芳根京子(俳優)

貸出料金 1台650円(税込)

展覧会オリジナルグッズ

本展を記念して「PEANUTS meets Monet」のコラボが決定!

Vintage PEANUTS™

© 2023 Peanuts Worldwide LLC www.cncps.jp

関連イベント①

モネっぽい写真コンテスト

ご応募いただいた中から抽選で5名様に素敵なプレゼントを贈呈!

「モネっぽい」「まるで印象派」な写真をお寄せください。

詳細は公式X(旧Twitter)を参照。

関連イベント②

原田マハ(作家「ジヴェルニーの食卓」著者)オリジナルエッセー執筆

期間中、会場内でのみ公開されるエッセーも!

特別講演会(2024/2/10(土))も開催決定!
詳細は大阪中之島美術館ホームページを参照。

観覧料(税込)	一般	高大生	小中生
当日	2,500円	1,500円	500円
前売・団体	2,300円	1,300円	300円

前売券
2023/10/26(木)10時から
2024/2/9(金)23時59分まで販売

チケットの主な販売場所
大阪中之島美術館チケットサイト、公式オンラインチケット、ローソンチケット[54487]、チケットぴあ[686-64]、イープラス、セブンチケット[102-833]、CNプレイガイド、アソビユー!ほか



【電車】●京阪中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)より南西へ徒歩約5分 ●Osaka Metro:四つ橋線「肥後橋駅」(4番出口)より西へ徒歩約10分 ●JR大阪環状線「福島駅」・東武新「新福島駅」(2番出口)より南へ徒歩約10分 ●阪神「福島駅」(3番出口)より南へ徒歩約10分
【バス】大阪シティバス:「JR大阪駅前」より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分*お帰りのJR大阪駅方面への便利なバス停は「渡辺橋」になります。
【駐車場】有料駐車場あり(割引サービスはございません。)*詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

お得なチケット ※プレイガイド(美術館チケットサイトを除く)のみで販売。販売期間は前売券と同様。詳細は展覧会公式サイトへ
◎使用期間限定! 前売2月限定チケット(一般のみ) 2,000円(税込) 2月のみ使用できる期間限定のお得なチケットとなります。期限が過ぎた場合は無効となりますので予めご了承ください。
◎注染手ぬい「にじむら」とのコラボが決定!(大阪展のみ)グッズ付きチケット販売予定

相互割引 [決定版] 女性画家たちの大阪!2023/12/23(土)~2024/2/25(日)/「没後50年 福田平八郎」2024/3/9(土)~5/6(月・休)
*本展観覧券(半券可)の提示で上記展覧会を100円引きでご鑑賞いただけます。(1枚につき1名様有効。チケット購入後の割引および他の割引との併用は不可。)

お問い合わせ 06-4301-7285(大阪市総合コールセンター) 受付時間:8時~21時(年中無休)
展覧会公式SNS X(旧Twitter)・Instagram: @100_monet2024
展覧会公式サイト: www.monet2023.jp